

## 幼児期の運動プログラム普及事業

# 親子で遊ぼう！トントンランド！

### 1 ねらい

秋・冬の自然の中で、36の基本的な動きを取り入れた運動プログラムを実施し、親子または子供たち同士で遊ぶ中で、新たな遊びに発展させる想像力や人間関係の基礎となるコミュニケーション能力を養う。

### 2 期日

平成29年11月11日(土) 日帰り  
平成30年2月24日(土)～25日(日) 1泊2日

### 3 対象

年長児・年中児と保護者

### 4 参加家族数／応募家族数

20家族(2月：19家族)／51家族

### 5 講師・スタッフ

法人ボランティア 4名  
国立立山青少年自然の家職員

### 6 日程

日帰り	午前	午後
11月11日(土)	親子で運動 トントンの森ビンゴゲーム	親子でゲーム

宿泊	午前	午後	夜
2月24日(土)		親子で探検 みんなで運動会	夜の運動タイム
2月25日(日)	親子で滑ろう		

### 7 参加者(保護者)からの感想

- 天気が悪く雨の中でのトントンの森探検でしたが、途中でめげずに最後まで歩いて頑張っていましたし、普段の生活ではできないことで新鮮でした。
- 知らない環境に行くと恥ずかしがり親から離れないことが多いが、今日は積極的に行動していて驚いた。
- 普段とは違った友達や、家族だけとは違う環境で、ちょっとずつ自分の遊び方や、友達との遊び方が見えてくる発見がありました。
- 思いっきり自然の中で友達と遊ぶ体験ができました。話を聞いて、ルールを守って活動することができないので、今後は声のかけ方を意識して子供と接していきたいです。
- プログラムの間で、自分で遊んだ道具は自分で片付けようという意識が芽生えたように感じます。継続させていきたいです。

### 8 成果

- 保護者から普段見ることができない子供の姿が見られたという意見が多くあり、子供たち同士のかかわりやグループでの活動を通してコミュニケーションを図る機会となっていた。
- 親子で一緒に活動(体験)する場の必要性を感じることができた。幼児期における親子のかかわりを今後増やしていく必要があり、またその需要があるということがわかった。

### 9 今後の課題

- 運動プログラムということで、体を動かすということを重点にプログラムを組んだ。様々な動きを取り入れた運動を今後も考えていきバリエーションを多く持つ必要がある。
- 11月、2月と同じ家族を対象に募集したが、より多くの家族・子供に運動体験を提供する機会を設ける募集方法もあると思うので、検討していく。

